

■米国：EEIのキューン専務理事、FERCの新委員を歓迎

上院は2018年12月6日、連邦エネルギー規制委員会（FERC）の新委員としてノミネートされたバーナード・マックナミー氏を50対49で承認した。マックナミー氏は、体調不良により退任したロバート・パウエルソン前委員を引き継ぐことになるが、化石燃料産業とのつながりや再エネに距離を置く姿勢などが議論の対象となってきた。上院での承認を受け、電気事業者などの業界団体であるエジソン電気協会（EEI）のトム・キューン会長は、マックナミー氏のFERC委員就任に対し歓迎の意を表明するとともに、「EEIおよび全米の電気事業者は、FERC委員の定足数を維持することの必要性を認識し、新委員の早期承認を行ってくれた上院院内総務のミッチ・マッコネル議員および上院のメンバーに感謝している。現在、FERCが管轄するエネルギー分野には、EEIの会員企業やその顧客に影響を及ぼすような多くの課題が存在している。送電線計画手順の更新、送電線認可手続きの簡素化、送電線事業に対する収益率見通しの容易化（投資を促すため）、などである。これらは、電力システムの信頼性およびセキュリティを確保するために解決すべき課題である。また、卸電力市場で消費者に対して不要なコストを強いている公益事業規制政策法（PURPA）の改正も必要である」と述べた。